

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】令和 1 年 9 月 26 日 (2019.9.26)

【公表番号】特表 2019-500123 (P2019-500123A)
 【公表日】平成 31 年 1 月 10 日 (2019.1.10)
 【年通号数】公開・登録公報 2019-001
 【出願番号】特願 2018-532317 (P2018-532317)
 【国際特許分類】

B 2 6 B 19/28 (2006.01)

【F I】

B 2 6 B 19/28 G

【手続補正書】

【提出日】令和 1 年 8 月 14 日 (2019.8.14)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

駆動シャフト及び非整列出力シャフトを含むヘアカッティング機器の駆動トレインのための自己整列式連結リンク機構であって、

当該連結リンク機構は、トルク伝達のために互いに係合するように構成された第 1 のコネクタ部分及び第 2 のコネクタ部分を含む継手セクションを含み、

前記第 1 のコネクタ部分は、雄型コネクタの長手方向軸線に対して垂直な断面で見た場合に、外部多角形プロファイルを含む前記雄型コネクタを規定し、前記第 2 のコネクタ部分は、内部係合プロファイルを含む雌型コネクタを規定し、

前記雄型コネクタ及び前記雌型コネクタは、角度オフセット補償のために自己整列態様で構成され、

前記雄型コネクタ及び前記雌型コネクタの少なくとも一方には、前記雄型コネクタ及び前記雌型コネクタを動作整列に向けて付勢するように構成された、周方向に配置された少なくとも 1 つの撓み可能な補償要素が設けられる、

連結リンク機構。

【請求項 2】

周方向に配置された複数の撓み可能な補償要素は、芯出し補償力を前記雄型コネクタ及び前記雌型コネクタに加えるように構成される、請求項 1 に記載の連結リンク機構。

【請求項 3】

少なくとも 1 つの前記補償要素は、前記雄型コネクタ及び前記雌型コネクタの一方に配置された一体成形の付勢要素である、請求項 1 又は 2 に記載の連結リンク機構。

【請求項 4】

少なくとも 1 つの前記補償要素は、ベースから延びるステム部分と、撓み可能なアーム部分とを含み、該撓み可能なアーム部分は接触面を含む、請求項 1 乃至 3 のいずれか一項に記載の連結リンク機構。

【請求項 5】

前記ステム部分は、前記雄型コネクタ及び前記雌型コネクタの一方の軸線方向接続壁に固定して取り付けられ、前記撓み可能なアーム部分は、外向き及び内向きに撓み可能である、請求項 4 に記載の連結リンク機構。

【請求項 6】

前記少なくとも１つの補償要素は、結果として生じる撓み軸線がコネクタの長手方向軸線に対して垂直になるように屈曲するように構成される、請求項５に記載の連結リンク機構。

【請求項７】

前記ステム部分は、前記雄型コネクタ及び前記雌型コネクタの一方の周方向接続壁に固定して取り付けられ、前記撓み可能なアーム部分は、外向き及び内向きに撓み可能である、請求項４に記載の連結リンク機構。

【請求項８】

前記少なくとも１つの補償要素は、前記周方向接続壁から周方向に延びており、前記周方向は、前記駆動トレインの動作回転方向に対応する、請求項７に記載の連結リンク機構。

【請求項９】

前記少なくとも１つの補償要素は、結果として生じる撓み軸線がコネクタの長手方向軸線に対して平行になるように屈曲するように構成される、請求項７又は８に記載の連結リンク機構。

【請求項１０】

前記雌型コネクタの前記内部係合プロファイルは、部分的に凹んだパターンで配置され、前記少なくとも１つの補償要素は、前記内部係合プロファイルの壁凹部に配置され、前記少なくとも１つの補償要素は、内向きの力を前記外部多角形プロファイルに加えるように、前記雄型コネクタの前記外部多角形プロファイルに接触するように配置される、請求項１乃至９のいずれか一項に記載の連結リンク機構。

【請求項１１】

前記少なくとも１つの補償要素は、取り付けられた状態で、前記雄型コネクタに力を加えるように、前記雄型コネクタの前記外部多角形プロファイルの接触面に接触し、それにより、前記接触面の反対側の又は前記接触面に隣接する前記外部多角形プロファイルの駆動面が、前記雌型コネクタの前記内部係合プロファイルの対応する噛み合う駆動可能な逃げ面と緊密に接触するように付勢される、請求項１乃至１０のいずれか一項に記載の連結リンク機構。

【請求項１２】

前記周方向に配置された少なくとも１つの撓み可能な補償要素は、前記雄型コネクタ及び前記雌型コネクタを互いに付勢して係合するために前記雄型コネクタ及び前記雌型コネクタに取り付けられた複数の補償要素を含む、請求項１乃至１１のいずれか一項に記載の連結リンク機構。

【請求項１３】

更なる継手セクションが設けられ、第１の継手が、前記駆動シャフトと伝達シャフトとの間に配置され、前記更なる継手セクションは、前記伝達シャフトと出力シャフトとの間に配置された第２の継手を規定し、該第２の継手は、トルク伝達のために互いに係合するように構成された、前記第２の継手の第１のコネクタ部分と第２のコネクタ部分とを含み、前記第２の継手の前記第１のコネクタ部分及び前記第２のコネクタ部分は、更なる雄型コネクタの長手方向軸線に対して垂直な断面で視た場合に、更なる外部多角形プロファイルを含む前記更なる雄型コネクタを規定し、更なる雌型コネクタが更なる内部多角形プロファイルを含み、前記更なる雄型コネクタ及び前記更なる雌型コネクタは、角度オフセット補償のために自己整列態様で構成される、請求項１乃至１２のいずれかに記載の連結リンク機構。

【請求項１４】

ヘアカッティング機器であって、

当該ヘアカッティング機器は、ハウジングと、該ハウジングに取り付けられたカッティングヘッドと、駆動トレインとを有しており、該駆動トレインは、駆動シャフトと、出力シャフトと、連結リンク機構とを含み、

該連結リンク機構は、トルク伝達のために互いに係合するように構成された第１のコネ

クタ部分及び第2のコンネクタ部分を含む継手セクションを含み、

前記第1のコンネクタ部分は、雄型コンネクタの長手方向軸線に対して垂直な断面で見た場合に、外部多角形プロファイルを含む前記雄型コンネクタを規定し、前記第2のコンネクタ部分は、内部係合プロファイルを含む雌型コンネクタを規定し、

前記雄型コンネクタ及び前記雌型コンネクタは、角度オフセット補償のために自己整列態様で構成され、

前記雄型コンネクタ及び前記雌型コンネクタの少なくとも一方には、前記雄型コンネクタ及び前記雌型コンネクタを動作整列に向けて付勢するように構成された、周方向に配置された少なくとも1つの撓み可能な補償要素が設けられ、

前記カッティングヘッドはブレードセットを含み、

前記駆動トレインは、前記カッティングヘッドが前記ハウジングに取り付けられたときに、前記ブレードセットを作動させるように構成される、

ヘアカッティング機器。

【請求項15】

前記ハウジングによって形成される主本体部分と、ネック部分とをさらに含み、

前記主本体部分はモータを収容し、前記ブレードセットは、前記ネック部分に取り付けられており、前記ネック部分は、前記主本体部分の主な向きに対してオフセットした角度で向き合わされており、前記主本体部分は前記駆動シャフトを収容し、前記ネック部分は前記出力シャフトを収容し、前記駆動シャフトの長手方向軸線は、前記出力シャフトの長手方向軸線と総オフセット角()を形成し、前記連結リンク機構の伝達シャフトは、前記駆動シャフトと前記出力シャフトとを連結し、前記伝達シャフトの長手方向軸線は、前記出力シャフトの前記長手方向軸線と第1のオフセット角()を形成し、前記伝達シャフトの前記長手方向軸線は、前記駆動シャフトの前記長手方向軸線と第2のオフセット角()を形成する、請求項14に記載のヘアカッティング機器。

【請求項16】

前記ブレードセットは、前記ネック部分に旋回可能に取り付けられる、請求項15に記載のヘアカッティング機器。

【請求項17】

前記総オフセット角()は、前記第1のオフセット角()と前記第2のオフセット角()との合計である、請求項15に記載のヘアカッティング機器。

【請求項18】

周方向に配置された複数の撓み可能な補償要素は、3つの撓み可能な補償要素を含む、請求項1に記載の連結リンク機構。

【請求項19】

前記雄型コンネクタ及び前記雌型コンネクタは、互いに係合された場合に、自己芯出しされた態様で構成される、請求項12に記載の連結リンク機構。